#### 「花いっぱい運動」で地域づくりを!!

環境部は毎年 「花いっぱい運 動」の一環とし て、春と秋に要望 のあった自治公 民館に花の苗を 贈る活動を行っ ています。





サルビアなどの

花を各自治公民館に、11月にはパンジー、タイアンサスなどの苗を各自治公民館に配布いたしました。 花の苗は住民の皆様によって公共の花壇や沿道等に植えられ、地域環境の美化に役立てていただきました。 その他の活動としてはカーブミラーの清掃も行っており、地域の皆様の交通安全にも取り組んでおります。

#### 子どもの健全育成を目指して



健全育成部では、中山香地区の将来を担う子ども達の健やかな成 長のため、さまざまな活動を行っています。

まず通年の活動として、毎月第一火曜日の朝に「あいさつ運動」 を行っています。小学校及び中学校において、登校してくる児童・ 生徒の皆さんと元気なあいさつを交わしています。暑い日も寒い日 も元気な子ども達の姿に健全育成部員も活力を頂いています。この 活動が安心安全な登校の見守りにも繋がれば良いなと考えていま

その他の活動として、夏休みには津山地区の山本牧場(山本博文 さん)のご協力により、「牛の乳搾り体験会」を開催しました。16

人の子ども達が参加し、乳牛とのふれあい、乳搾り体験やアイスクリーム作りなどを行いました。日頃では出来な い体験に目を輝かせている子ども達の姿は、とても微笑ましかったです。

最後になりましたが、健全育成部の活動に対し、地域の皆さんには、ご理解とご協力を賜り、本当に感謝してい ます。

今年の夏は、酷暑に加えて大型台風や豪雨に襲われ、日本各地で大変な被害が出ましたが、 山香の方は大した被害もなく、年度当初計画いたしました諸事業を順調に実施しております。 9月1日の防災の日には、県主催の県東部地区総合防災訓練に防災士の方々や地区の皆さん

と共に参加いたしました。訓練では多くのことを学ぶことができ、避難所への姿がおぼろげながらイメージするこ とができました。また今月1日に、女性部は「災害時の食事づくり」の研修を開催。防災の意識が高まっている昨 今です。今後は、いつ起こるかわからない災害に対応できるような本自治協独自の事業を模索しなければならない のではと思っているところです。

懸案の市立山香病院の存続については、厚生労働省から公立病院の再編・統合の検討が必要との発表を受け、去 る11月12日に山香地域区長会連合会と山香地域自治協連合会の連名で「山香病院存続に関する請願書」を市議 会に提出いたしました。市長も「山香病院は必要」との見解を示していますが、今後の検討の経過次第では皆さん のお力をお借りしなければならないと考えています。今後とも変わらぬ御支援・御協力をお願いいたします。

編集委員一同

## 中山香地区住民自治協議会

# 言治流言。引

Vol. 7 2019.12.25 発行

発行責任者 自治協会長 金髙 仁一郎













9月1日は「防災の日」。県主催の東部地区総合防災訓練を実施しました。杵築市では、中山香地区で 大掛かりな訓練を行いました。

#### 災害時は女性部のパワーで乗り越えろ!

毎年全国各地で甚大な災害が起こっています。いつ私たちの身の回りに起こっても、慌てず対応ができることを目的に、12月1日に山香中央公民館の調理室にて「災害時の食事づくり」の研修会を行い、29名が参加しました。

講師に、別府短期大学食物栄養科教授の立松洋子先生をお招きしての調理実習です。

鍋にお湯を沸かし、炊飯ビニールでご飯を炊き、ポリ袋で焼きそば、 ちゃんぽん、茶わん蒸し、プリン、魚の煮つけ、鶏のからあげ、豚ヒレ カツなど10種類の料理をつくりました。

栄養士さんならではの衛生的で、栄養価のある非常食とは思えないくらいのおいしい料理が短時間で出来上がりました。詳しく説明もしていただき、とても勉強になりました。この研修で終わりにせず、今後は各地区ごとで多くの人に伝えていきたいと考えています。





#### スキルアップで災害時に対応!!

中山香地区の防災士は、現在46名います。自主防災組織は16行政区すべてに結成されていますが、その中で 防災士の有資格者が一人もいない地区が2地区あります。また、組織があり防災士が配置されていても、年間活動 を積極的に実施している地区は数ヶ所しかありません。

最近の大災害の発生の様子を報道で見聞しますと大変なことです。それも50年に一度、100年に一度といわれていますが、地震や異常気象による大雨等の災害は何時起こるかわかりません。

日頃から防災士は、区長、区民皆様と連携して 有事の際は、皆の命と財産を守るべき心構えを持っておかなければなりません。その意味からして 地区防災士は大きな役割を求められています。

市が想定するハザードマップを参考に地区民と協力して市内一斉避難行動の実施をはじめ中学校の防災訓練の指導、年3回のスキルアップ研修を右図のとおり行っています。

防災部員(防災士)は、地域の皆様の命と財産 を守っていく活動を続けていきたいと思います。

#### スキルアップ研修の内容

- ①火災に対しての訓練((・消火器の使用方法(屋内の場合、屋外の場合)・消火器の噴射時間、耐用年数、廃棄の仕方等・バケツリレーでの消火の仕方)
- ②簡易救命講習(・心肺蘇生法の実施方法 ・AEDの使用 法)
- ③簡易搬送法方法、止血の方法、異物の吐かせ方(・身近なものを使用した搬送方法(棒と毛布、衣類)・直接圧迫止血法・タオルを使っての止血方法・異物の叶かせ方)
- **④図上訓練**(・防災マップの見方・地域の洪水、土砂災害の 箇所の把握・活用方法)

### 「地区代表部会」って・・・?

中山香地区のみなさん、本自治協議会に「地区代表者部会」という専門部が設置されていることをご存じでしょうか。当部会の構成メンバーは各行政区の公民館長並びに自治協会長・副会長・事務局他です。

行政区の実情によっては区長が公民館長を兼ねているところもあるのではないかと思います。

発足して間もない部会ですが、中山香地区の敬老会「老春みんなで寄ろう会」の主催や外部から協力要請のあった「大分県総合防災訓練」の協力などに取り組んできました。役員会そのものもすでに4回ほど開催されています。

安心、安全で住みやすく活気のある中山香地区を作っていくにはどうすればよいのか。住民の皆さんの叡智を総動員して取り組んでいかなければならない課題です。



敬老会の出し物(けとろく劇団)

構成メンバーから考えてみたとき、当部会は本協議会の中核部と して積極的に活動していかなければならない立場にあると思われ ます。

いたるところで少子高齢化・過疎化の時代に、地区・地域の活性 化は容易なことではでないかと考えさせられます。人口減という どうしようもないマイナス要因を補い、地区の皆さんを少しでも 元気にできる何らかの方策はないものでしょうかねえ。

現在行われている本協議会の諸事業を充実発展させながら、住 民の皆様の自治意識を高める研修等も取り入れる必要があるので はないかと感じさせられているところです。

#### スポーツの集い

11月3日に『スポーツの集い』グラウンドゴルフ大会を開催しました。

本年度は、市営山香グラウンド(住吉)で行い、14区、38チーム、199名(内、小学生15名、中学生1名)の参加がありました。





昨年よりも参加数は少なくなり、場所も山香庁舎前のふれあい広場から変わったこともあり、苦戦している方もいましたが、ホールインワンが40個と昨年(26個)に比べ1.5倍以上に増え、一人で3回も出した方もいました。

本年はコース別に、男女毎の上位、ブービー賞に加え、コース毎の飛び賞を数多く追加し、たくさんの方が賞を もらえるようにしました。(多くの賞を設け、みなさんに喜んでいただきました。)

今後の活動としまして2月に第10回杵築市体協支部対抗駅伝大会が開催されます。今年は杵築地域での開催となりますが、ご都合のつく方はぜひとも応援をよろしくお願いします。